

助成年度：平成 25 年度

[所属] 京都大学大学院 理学研究科

[役職] 助教

[氏名] 東 浩司

[課題]

大学博物館標本庫に眠るさく葉標本から読み解く野生動物の遺伝的多様性の喪失 および分布域の変遷過程の解明

[内容]

対馬における国内希少植物種の分布変遷および遺伝的多様性の喪失状況を明らかにするために、国内主要標本庫調査および現地調査を行い、また DNA 解析も行った。アレチアザミ、ハナナズナ、ツシマノダケはかつて島内に広く分布していたが、現在は 1～数カ所では確認できなかった。シマトウヒレンはかつて今も 1ヶ所では見られないが、個体数は減少しているようである。他にも、キバナハタザオ、チョウセンカラスウリ、ムラサキカラマツ、オオチダケサシ、チャボツメレンゲ、ヒメマンネングサの調査を行った。DNA 解析ではこれら希少種の葉緑体 DNA を明らかにし、また標本由来の DNA 解析もあわせて行い、分布域の縮小によるハプロタイプの喪失状況を検討した。